

NPO法人アレルギーを考える母の会主催 オンライン研修会

後援：厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁

アレルギーの子どもたちを支える 専門職の研修会

募集要項(令和7年度)
(公財)ニッポンハム食の未来財団助成事業

オンライン
定員
1000名

参加費
無料

食物アレルギーやアトピー性皮膚炎などの小児アレルギーの最新知識、移行期の若者に必要な支援、学校や保育所の対応、母子保健事業における具体的な取り組み、災害時のアレルギー患者支援など、幅広いテーマについて実践的に学びます。

対象

保健師、管理栄養士、栄養士、助産師、救急救命士、救急隊員、教職員、保育士、児童福祉施設等の職員、医師、看護師、行政職員など

第1回

令和7年12月5日(金)
14:00～17:00
質疑あり

今井孝成先生

(昭和医科大学医学部
小児科学講座教授)

【内容】広がる食物アレルギーのリスク、子どもに関わる施設に求められる対応

第2回

令和7年12月11日(木)
13:30～16:30
質疑あり

矢上晶子先生

(藤田医科大学総合アレルギーセンター・センター長)

【内容】アレルギー児が社会で輝くために～小児期から成人期を見据えた学校・園での対応と就学・就労の両立支援

第3回

令和7年12月16日(火)
13:30～16:30
質疑あり

古川真弓先生

(さいわいこどもクリニック)

【内容①】乳幼児期のアレルギーの保健指導に必要な知識と具体的な展開

アレルギーを考える母の会
スタッフ

【内容②】能登半島地震などから考える災害時のアレルギー患者支援と、行政の動き

聴講のお申込み

*Web会議ツール
「Zoom」を使用します

裏面へ

オンデマンド(録画)視聴のご案内(講義部分)

視聴期間：令和7年12月25日(木)～令和8年1月31日(土)
視聴方法：令和7年12月25日(木)に「母の会」HPでご案内
「その他ご案内」「リンク集」からお入りください

オンデマンド配信だけを視聴する方は、事前に申し込む必要はありません



母の会HP

申込

第3回

令和7年12月16日(火)



<https://zoom.us/join/join?j=96058320201>

*本研修会は申込み受付と視聴URL送信、参加者情報の管理などの業務を
(株)プロセスユニークに委託して行います

A portrait photograph of Dr. Yoon Gook Kim, a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is smiling slightly at the camera.

今井孝成先生

昭和医科大学医学部小児科学講座
教授。「学校給食における食物アレルギー対応指針」(文部科学省)、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(厚生労働省)の作成と改訂などで中心的な役割を果たした。



矢上晶子先生

藤田医科大学総合アレルギーセンター・センター長、日本皮膚科学会皮膚科専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医・指導医。おしゃれに潜むリスクなど生活目線を大事にする。NHK「あさイチ」など出演多数。



古川真弓先生

獨協医科大学卒、国立成育医療研究センター総合診療部などを経て現職。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)を分担執筆した。

【研修会の内容について】「母の会」HPの「お問い合わせ」よりメールで

問合せ

平日9時～17時(12時～13時を除く)

(NPO法人アレルギーを考える母の会)

平成11年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療(標準治療)につなぎ健康回復を図る相談活動(年間約400人)を中心に、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、相次ぐ災害の被災地でも活動を継続し、厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」などの委員も務める。第69回「保健文化賞」(平成29年)、第2回「未来をつくる こどもまんなかアワード」内閣府特命担当大臣表彰(令和6年)などを受けている。



母の会HP